

## 65 回生進学講演会 『高校 2 年生の今、何をすべきなのか』

駿台予備学校 吉村 眞一先生

11月30日(水)、駿台予備学校の吉村眞一氏をお迎えし、進路講演会を実施しました。吉村氏は昨年の64回生に引き続き2年連続、また先日の教育講演会では保護者の方々にも講演されました。ご自身の高校時代・浪人時代(もちろん駿台予備学校に在籍)の経験をもとに、噂に違わず、ユーモアを交えながら素晴らしい講演で、65回生も90分間メモを取りながら必死に耳を傾けていました。2年生のこの時期だからこそ聴くことに意味がある内容でした。



### 【講演のポイント】

どんな話やニュースでも、すべて自分の立場に置き換えて考える。

大学の意味 = 3つの出会い 良い先生 良い友人 良い書物

この中では が特に大切

柔らかい頭で発想の転換を図る (例)日清食品のカップヌードル製造方法  
志望校の決め方

×現状 志望大学 将来の夢 志望大学

国公立の後期日程まで粘る

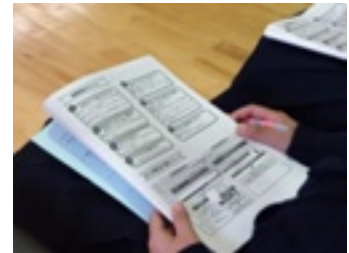
《例》一橋大学経済学部 後期日程 70%の欠席率

前期日程が終わったその日から後期日程の勉強を始める

入試直前まで授業を大切にす

センター試験の出題は教科書から、1年30%、2年40%、3年30%の範囲から出題

吉村さんの体験談：定期考査に真剣に取り組まず、基本的な土台が出来ていないと、神戸大学の2次の問題は解けない。



### 【2年生のうちに是非やって欲しい4つのお願い】

自分の将来について真剣に考えて志望大学・志望学部を決める

今悩むことに意味がある。3年の今頃悩むのは遅い。

大学を徹底的に調べる。実際に大学見学に行き、自分の目で確かめる。

苦手科目を作らない

「何につまずいているか」を突き止め、基礎からやり直す。先生にどんどん質問する。

吉村さんは浪人時代、高校受験の英語の問題集を総復習された。

「ハミガキ学習」のすすめ

朝と夜 短時間でいいから時間を決めてやり続ける。「小さな事をコツコツと」

手を動かすクセをつける

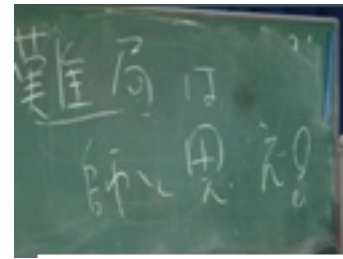
人間は忘れる動物である。(エビングハウスの忘却曲線を例に)

反復と継続が大切



## 【吉村語録】

- 『定期考査へのしっかりとした取り組みが全ての基本』
- 『みんなが解ける問題を解けるようにする』
- 『入試にファインプレーは必要ない。平凡なエラーをしない』
- 『最後まで諦めない』
- 『難局は師と思え』
- 『Big Wave を巻き起こす』 ~何時来るかわからないが、きっと来ることを信じて~



**『難局は師と思え!』**

## 【生徒の感想文から】

この講演会から一番勇気もらったのは、コツコツ積み上げて毎日時間を費やして勉強すれば、成績は急には上がらなくても、いつかきっと大きな波が来るということです。夏休み以後、改心して学習に取り組んでいますが、なかなか思うような成果が出ません。そんな中で聴いた講演会の話からもっともっと頑張ろう、という元気をもらいました。

これから実践したいのは、「ハミガキ学習」です。寝る前に「シス単」を4ページずつ読んでいこうと思う。(360ページあるので、90日で1回読み終わる計算だ)コツコツすることが苦手なので、これはぜひちゃんと継続していきたい。

私は進路を考えると、現状から大学を決めて、そこから将来のことを考えていました。でもそれは間違いで、まず将来のことを1番に考えることが大切だということが分かりました。

講演会を聴いて、あらためて私の夢である「臨床検査技師」が、私が「こう生きていきたい」「こうでありたい」と描く理想だと確信しました。絶対に就きたいと思っています。そのために考えた大学、そこに合格するために立てた目標は、しっかり自分で叶えたいと思います。

一番印象に残っているのは、3つの出会いです。「良い先生、良い友人、良い書物」。私にもこのような3つの出会いが待っていることを信じて、将来についてよく考え、それを叶えるために今何をすべきかを明確にしていきたいです。

勉強をしようという気持ちよりも、なぜ、どうやって勉強するのか、という気持ちが大切。集中力を持ち続けるにはしっかりと第一志望に対する強い気持ちを持つことが必要ということが分かった。もっと大学に対する気持ちを作っていかななくてはダメ。「何となく」という気持ちがあるので、本気で勉強に取り組めていない。今よりもっと良いものができると思う。

大学入試をなめてはいないと思っていたが、今回の話を聴いてひるんでいた自分がいた。覚悟を決めなくてはいけない。また、何事もポジティブに考えていこう。「難局は師と思え」この言葉を胸に秘めて辛いときは乗り越えていこうと思いました。

先生の言葉「親の脛をかじれ!」かじれるだけかじって、成功して、自分の子どもにもかじらせてやれるといいな、と思いました。また、これまでわからない点を塾の先生や友人に質問していたが、「早い! 安い! 上手い!」の学校の先生に質問に行こうと思いました。

部活でも、できないプレーを諦めないでやり続けると、ある時できるようになります。私は勉強においてそれをしているかな、と考えると、していないと思います。それがダメです。勉強も自分で考え、工夫して・・・と試行錯誤があってそして我慢の期間があり、やっと伸びる時期があります。「試行錯誤」これをし続け、諦めず勉強していこうと思う。

志望大学・学部を選択するときに「将来(夢)」から考えていくことが重要だと思いました。今の自分の現状などで決めてしまいそうになっていたのを、改めてじっくり考えようと思いました。またそのためにも、自分の限界を自分で決めつけないようにしたいです。

私は、暗記するのが苦手です。今日の講演で「人間はすぐ忘れるから、忘れたことをまた覚えなおす、ということの繰り返しが大切だ」と分かりました。反復と継続を大切にして、記憶の量を増やしていこうと思いました。

正直今の自分は、将来の夢から考えて大学を選び、対策を立てるということができず、今の成績から考えて行きたい大学を目指すかどうか迷っていました。大学卒業後の人生の長さや大切さを考えず、大学生活のことだけを考えている自分もいました。今日の講演を聴いて、本当になりたい自分を思い描いてそれを叶えられるように、今頑張る時期なんだと知りました。

手を動かさないと頭に入ってこない、小さなことからコツコツやる、テストは振り返りを重点的になど、今までにも言われてきたことでしたが、それがどれ程大事なことなのか、改めて思い知らされました。

「今日何の勉強をするか」といった計画ではなく、「このページを何分でする」といったところの計画を立てる。教科書をもっと使いこむ。少し疑問に思ったら、すぐ先生に質問、などすぐに実行できる。一番最初に聴いた「現状から将来を考えるのではなく、将来から現状を考え、創り出す」という言葉が印象に残っています。まだ人生の 1/5 ぐらいしか生きていないのに、今の現状だけで先を決めるのはもったいないと思います。

予備校に入った人たちが皆「もっと早くからやっとけばよかった」とか、「もっと真剣にやっとけば」と言っていたという話を聞いて、自分も 1 年後そんな風に思うのはいやだなと思った。今すぐ始めればまだ遅くないし、後悔することもないようにできるはずなので、後、後と考えずに今スタートしたい。

私は 高 1 の中頃から定期考査をかなり頑張りはじめた。すると模試の成績も上がってきたのだ!! この講演で、定期考査の重要性を改めて感じるとともに、これからも授業を大切にしていけば、上手くいくのではないかという希望を持つことができた。

私は数学が苦手です。授業の復習を疎かにし、テスト前に解き方を暗記してテストを乗り切ってきたので、全く自分の中に定着していないのだと思います。3 年になってから苦手科目を克服する時間はなかなかないと思うので、この冬休みを利用して数学の苦手意識を克服したいです。

私は理想が高すぎて現実とのギャップ落ち込ことがあるけど、「理想は高くても当然、そのギャップを埋めるのは努力」という言葉を聞いて、夢の実現にはやはり努力が必要なんだと思いました。

### 【写真集】

